

原子力リスク研究センター（NRRC） 第19回 技術会議 議事録

1. 日 時：2018年2月1日（木）10：30～12：30
2. 場 所：電力中央研究所 大手町本部 役員大会議室
3. 出席者（順不同、敬称略）
 - 主査：横尾（NRRC）
 - 委員：勝海（北海道電力）、遠藤（東北電力；加藤代理）、川村・山本（東京電力HD）、伊原・中川・名倉（中部電力）、福村（北陸電力；米原代理）、鈴木・原口・吉原（関西電力）、吉谷（中国電力；林代理）、黒川（四国電力）、岡野（九州電力）、石坂（日本原電）、岡村（日本原燃）、鞍本（電源開発）、四柳（東芝）、今野（日立GE）、山岸（三菱重工）、倉田（原安進）、渥美（電事連）、多田（電工会）、高橋・示野・白井・梅木・稲田・山本（NRRC）
 - オブザーバー：アポストラキス、尾本（NRRC）
4. 議事概要
 - (1) 研究ロードマップについて
 - NRRC より、NRRC 研究ロードマップ（2018年2月版）について報告がなされた
（主なコメント ◆外部委員、◇電中研委員）
 - ◆人間信頼性評価（HRA）の高度化を進めて、今後できるだけ早く現場で使えるようにすることが重要だ。そのためにリソースを投じていくべきだと思う。
 - ◇2018年度以降、従来のヒューマンファクター研究センターの全要員を人的リソースとしてHRA研究へ投じていく。
 - ◆われわれが取り組もうとしているリスクマネジメントの考え方を社会に伝え、一緒に考えるということがリスクコミュニケーションだと思う。その観点から、「リスク情報活用の実現に向けた戦略プラン及びアクションプラン」と、リスクコミュニケーションのスケジュールが適切に関連付けられていることが重要だ。
 - ◆研究ロードマップを公開すると様々なところからフィードバックがあると思うが、どう対応していくのか。
 - ◇ロードマップ公表は、NRRC がオープンであることを示す一歩だと考えてお

り、いただいたフィードバックには返信し、必要に応じてロードマップを見直していく。

(2) 研究トピックスについて

○NRRCより、「2018年度以降の人間信頼性評価研究の拡充」、「降灰機器影響評価試験実施状況」について報告がなされた。

(3) リスク情報活用推進チームの活動状況

○NRRCより、「リスク情報活用推進チームの活動状況」について報告がなされた。

以上